

実施報告書

令和4年度（2022年度）ふくしまグローバルセミナー

福島県国際理解教育ネットワーク（フィーネット）

日時：2022年12月17日（土） 13:00-16:00

形式（会場）：オンライン Zoom

参加者数 申込54名、当日41名

プログラム

別添フライヤーのとおり（3セッション）

セミナーレポート

セッション1 13:00～13:50

テーマ「ウクライナ留学生の今～いわきでの生活を通して今思うこと」

講師 東日本国際大学 副学長 中村隆行氏、

同学 ウクライナ人留学生 ダリア スツジンスカ氏、

同 アルミナ マルティロシャン氏、（英-和通訳 泉 江利子氏）

【概要】冒頭、中村副学長から東日本国際大学でのウクライナ人留学生の受入れの背景と留学の概要について説明の後、ダリア スツジンスカさん、アルミナ マルティロシャンさんからそれぞれ日本留学を決めた経験談と、留学生活を開始してから現在にいたるまでを日本語、英語（通訳）でお話があった。日本での学生生活での気づき（驚きや喜び、困難や課題など）を踏まえながら、来日以降の考え方の変化、また、現在も戦火にある母国の様子をご家族やご友人とのやりとりを踏まえながら我々の想像も及ばない悲しい状況なども詳細にお話された。参加者からの質疑では、一刻も早い戦争の終わりとウクライナ国の復興と平和の再建について積極的な意見が交わされた。

留学生からはウクライナの魅力なども説明され、国情が落ち着いた後には是非訪問してもらいたいとの強いメッセージが届けられた。



【参加者からの感想】

- ・直接リアルな声が聞けてとても感動しました。それに勇気も頂きました。英語も聞き取りやすく、いいセッションでした。
- ・生の貴重な意見が聞けてとても充実した時間になったとともに、平和と支え合いの大切さに改めて考えさせられました。
- ・ウクライナの留学生をいち早く受け入れた東日本国際大学の英断に敬意を持ちました。また留学生の皆さんが、つらい環境の中でも笑顔と感謝の気持ちをもって頑張っている姿に感動しました。

セッション 2 13:50～14:40

テーマ 「ふくしまで暮らす外国人・日本人によりそって～スリランカ出身の私がこども食堂をオープン」

講師 (一般社団法人) SJW (日本の暮らしによりそう会) 代表 フェルナンド・ダナンジ氏

【概要】 フェルナンド・ダナンジ代表が来日以来、ご自身が外国人として感じたことや解決すべき課題への想い、個人としての取り組みが徐々に広がっていく過程や、協力者からの具体的なアドバイスの詳細などについてお話しいただいた。



一般社団法人 SJW 設立目的

- ▶ 福島県在住外国人及び日本人支援が目的
- ▶ 特に子どもたちの健全な育成をサポートする



【参加者からの感想】

- ・子供たちのためや、帰化したりなど日本出身ではないのに日本のために働く姿勢がとてもかっこよかったです。本気で取り組む姿、尊敬しようと思いました。
- ・子どもへの愛情がすごく伝わって、行動力の凄さに驚くと同時に感銘を受けました。
- ・元外国籍の方の視点から見た言語の壁、人種の壁が入り混じった福祉問題の話聞いたのは授業だけでは得られない貴重な体験になりました。
- ・慣れない日本の地でネットワークを作りながら子ども食堂などの活動を精力的にされているところに感銘を受けました。
- ・自分が日本に来た時の苦しみを味わってほしくないという思いで、フリースクールを作ったり、子ども食堂を始めたりと、ダナンジさんの行動力が素晴らしいです。
- ・地道な活動から、自分ができることは何か、考えることができました。
- ・日本語で詳細に説明する姿に人柄が現れていた。

セッション3 14:50～15:40

テーマ「Hey, Batsi ! ～国境なき医師団パプアニューギニア派遣の話」

講師 長崎大学病院感染症内科医師 鵜川竜也氏

【概要】 国境なき医師団の組織概要、特に医師や看護師などの医療従事者だけでなく、多様な専門分野の人材が関わり、短期間から長期間、規模も大小様々なプロジェクトに登録されたメンバーが派遣されるといった説明があり、次に鵜川医師が医師になるまで、そして国境なき医師団に参加するまでの苦労話など参加者にわかり易くお話をされた。また、実際にパプアニューギニアでの派遣では写真を交え、またチームの一員として任務での工夫やプライベートな時間の過ごし方など、一般には想像できない派遣の様子などをご紹介いただいた。



【参加者からの感想】

- ・海外で働く数少ない業種の方のリアルな当時の感情がすごく伝わる圧倒される話でした。
- ・世界中の人々を助けようと励んでいる姿、とてもかっこいいと感じました。ありがとうございました。
- ・国境なき医師団に対するの価値観が大きく変わりました。非常に貴重な講演を聴けて良かったです。
- ・感染のリスクがある中で福島県の若者は世界で活躍することに感銘を受けました。
- ・現地の人とお話を聞いて、海外の人と関わることに憧れました。私は英語、異文化に興味があるので、とてもためになりました。
- ・日本を離れて困っている世界の人々のために頑張るヒーローたちの集まりだと思いました。重い症状の患者さんのためにわざわざ大きな病院に頼みに行くなど患者さんのために動くお話がたくさん聞いて感動しました。